

事業案内

Corporate profile

信頼とぬくもりのある



医療と看護を目指して



マスコットキャラクター“こころん”

信頼とぬくもりのある医療・看護を

基本理念

JA秋田厚生連は、農家組合員をはじめ地域住民が健康で豊かに安心して暮らせるように貢献します。

信頼と
ぬくもりのある
医療の提供



保健予防活動を通じた地域住民の
健康管理の充実



福祉活動を通じた高齢者の
自立・生きがい
づくりの支援



JA秋田厚生連の4つの誓い

私たちは、皆さまに親しまれ、
信頼をもって来院していただける病院を目指し、
“4つの誓い”をお約束します。

①おもてなし

地域の皆様を笑顔で迎え、あたたかみ・思いやりを込めて接します。

②癒し

地域の皆様が癒されるような病院を目指します。

③高度医療

地域の皆様のニーズに応え、良質な医療を提供します。

④地域貢献

地域に対して公的医療機関の役割・機能を果たします。

Contents

- 01 厚生連の理念・誓い
理事長あいさつ・沿革
- 03 組織図
- 04 事業所のご案内
- 05 事業内容
- 07 病院紹介 かつの厚生病院
- 08 北秋田市民病院
- 09 能代厚生医療センター
- 10 湖東厚生病院
- 11 秋田厚生医療センター
- 12 由利組合総合病院
- 13 大曲厚生医療センター
- 14 平鹿総合病院
- 15 雄勝中央病院
- 16 JA 秋田厚生連 本所
- 17 人材育成
- 19 職員紹介
- 21 福利厚生



私たちは、“4つの誓い”のもと、「ホスピタリティ(おもてなし)」精神の醸成にむけた取組みを推進し、利用者の皆様に満足していただくだけではなく、一歩進んで、感謝・感動されるサービスの提供を目指します。

目指して

理事長あいさつ



秋田県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長 **小野地 章一**

J A秋田厚生連は、県内各地域に9病院を配置し、医療法に基づく公的医療機関としての指定を受けるなど、医療・保健事業を積極的に展開しております。それぞれの病院が地域の中核的医療機関として位置付けられ、救急医療、小児医療、周産期医療、がん医療、へき地医療、災害医療など幅広い医療機能を担っており、地域において無くてはならない存在となっております。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、通常の医療体制となりましたが、病院経営にとっては著しい事業環境の変化をもたらすなど、医療を取り巻く情勢は一層厳しいものとなっております。

そのような中でも当会は、各地域における中核的医療機関として、安全・安心で質の高い医療を継続的かつ安定的に提供していく責務を担っております。そのため、事業環境の変化を踏まえ新たに策定した中期計画「第二期経営健全化計画」のもと、一層の経営・財務基盤の安定化・健全化と、環境の変化に柔軟に対応した医療提供体制の構築を目指し、今後も地域医療の一層の充実に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいります。

目的と事業

| | |
|-------|--|
| 目的 | この会は、会員が協同してその事業の振興を図り、もってその組合員の農業の振興、経済状態の改善、社会的地位の向上に寄与することを目的とする。 |
| 事業 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に関する事業 2. 保健に関する事業 3. 老人の福祉に関する事業 4. 前各号の事業に附帯する事業 |
| 設立年月日 | 昭和23年8月2日（認可） 昭和23年8月12日（登記） |
| 会員数 | 15会員（内連合会2） （令和6年3月31日現在） |
| 出資金 | 47億3,485万円 （令和6年3月31日現在） |

沿革

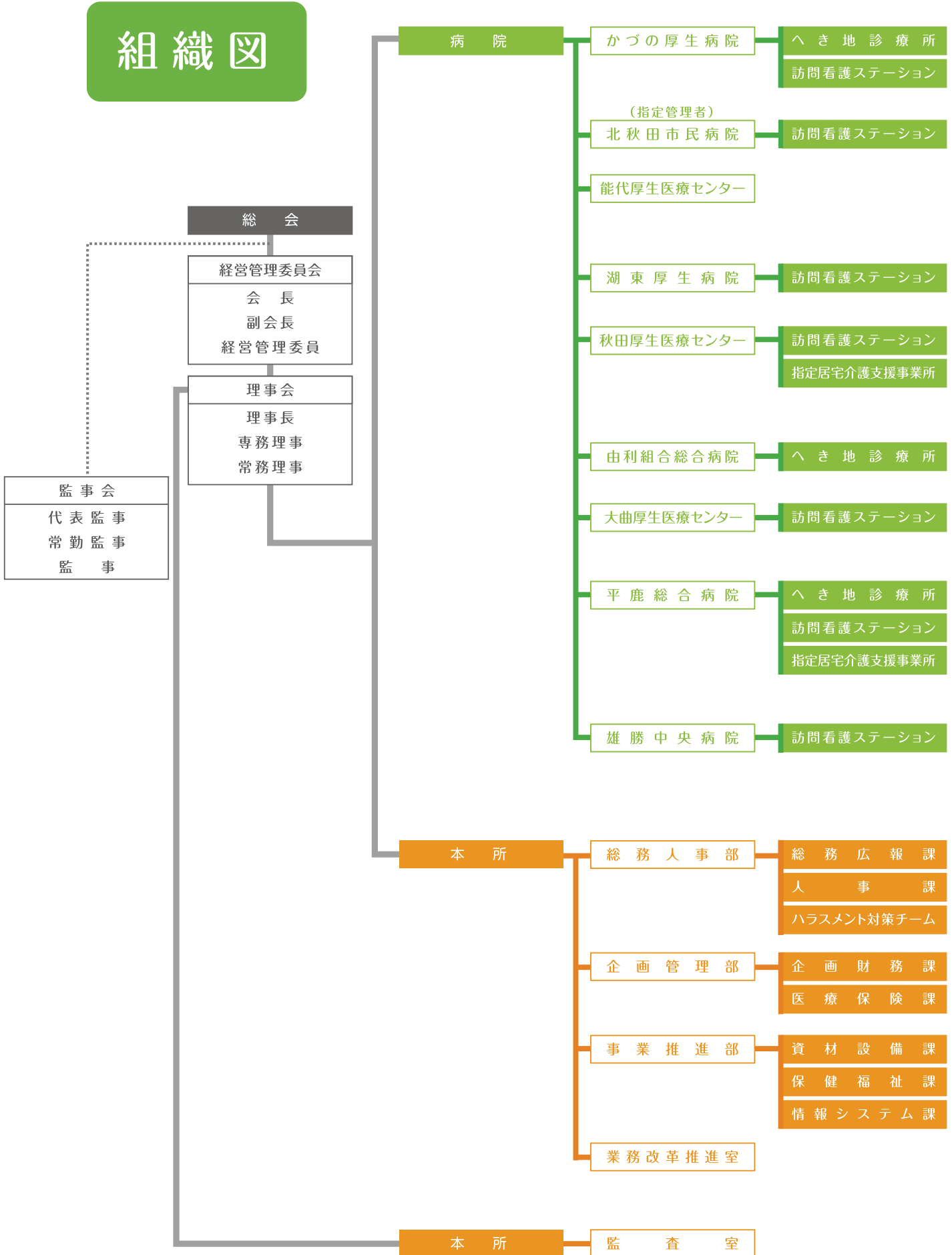
J Aの医療事業は、明治33年に制定された産業組合法のもとで、大正8年から広がった窮乏している農村の無医地区解消と低廉な医療供給を目的とした運動が始まりです。

秋田県においては、昭和7年に秋田医療利用組合の開設以後、旧制の郡の中心地に医療購買利用組合を設立し、病院を開設しました。その後、秋田県農業会に移管され、昭和23年同会の解散に伴い、農協法のもと秋田県厚生農業協同組合連合会（J A秋田厚生連）となり、昭和26年には医療法第31条に規定する公的医療機関としての指定を受けました。

私たちは地域の皆様に安全で、安心される医療を提供することを通じて、今後も地域社会に貢献していきます。

| | |
|-----------|---|
| 昭和7年 | 秋田医療利用組合が設立され、秋田市古川堀反に病院を開設 |
| 昭和8年 | 平鹿、山本、五城目、由利医療購買利用組合が設立され、横手市、能代市、五城目町、本荘市にそれぞれ病院を開設 |
| 昭和9年 | 雄勝、仙北、鹿角医療購買利用組合が設立され、湯沢市、大曲市、鹿角市にそれぞれ病院を開設 |
| 昭和13年～16年 | 各地区の中心地に設立された広区域医療購買利用組合は、町村産業組合で構成する郡連合会に改組 |
| 昭和17年 | 各郡医療購買利用組合連合会は、県信販購利組合連合会に統合 |
| 昭和18年 | 県信販購利組合連合会は、戦時農業団体統合により秋田県農業会に移管 |
| 昭和19年 | 県農業会は町立鷹巣病院を買収し、北秋中央病院を開設 |
| 昭和20年 | 秋田組合病院を秋田県立女子医専附属病院として県に寄付代替病院として秋田土崎港の私立病院を買収、秋田組合病院を開設 |
| 昭和23年 | 秋田県厚生農業協同組合連合会を設立 県農業会の医療施設を引継ぎ事業開始 |
| 昭和26年 | 厚生省より公的医療機関の指定を受ける |
| 昭和28年 | 秋田県農村医学会発足 |
| 昭和42年 | 農村医学研究所を開設（平鹿） |
| 昭和43年 | 湖東総合病院が五城目町より現在地に移転 |
| 昭和48年 | 秋田県より地域センター病院の指定を受ける （鹿角、山本、湖東、秋田、由利、仙北、平鹿、雄勝） |
| 昭和50年 | 秋田県より地域センター病院の指定を受ける（北秋） |
| 平成元年 | 山本組合総合病院移転新築工事竣工 （附属精神病院を閉鎖） |
| 平成6年 | 由利組合総合病院移転新築工事竣工 |
| 平成12年 | 秋田組合総合病院移転新築工事竣工 |
| 平成17年 | 雄勝中央病院移転新築工事竣工 |
| 平成19年 | 平鹿総合病院移転新築工事竣工 |
| 平成22年 | 北秋中央病院廃止 北秋田市民病院指定管理者制度による運営開始 かつの厚生病院移転新築工事竣工 |
| 平成26年 | 秋田組合総合病院から秋田厚生医療センターに名称変更 湖東厚生病院改築工事竣工 大曲厚生医療センター移転新築工事竣工 |
| 平成27年 | 山本組合総合病院から能代厚生医療センターに名称変更 |

組織図



事業内容

私たちは **医療・保健・福祉** を一体的に

医療

地域住民が求める医療提供体制を確立するため、政策的医療の機能充実に努めます。

政策的医療として重点的に取り組んでいる医療分野や機能

- 救急医療
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 災害派遣医療チーム (DMAT) の体制整備
- 地域がん診療連携拠点病院
- 周産期医療・臓器提供協力施設
- エイズ拠点病院
- 地域療育医療
- へき地医療拠点病院
- 秋田県認知症疾患医療センター

良質な医療を提供するための環境整備を進めます。

- 安心・安全な医療の提供
- 患者への医療情報提供の推進
- 医療連携～切れ目のない医療提供体制の確立
- 政策的医療を支える医療機器の整備と効率的活用
- 医療情報ネットワークシステム機能の充実
- 医療の標準化の促進・透明性の向上



医療機能の充実

地域の中核的医療機関として医療機能の充実や技術向上を目指します。



地域がん診療連携拠点病院 (秋田)

地域がん診療病院 (北秋田・能代・由利・大曲・平鹿・雄勝)



がん診療に関する診療体制、設備、情報提供、他の医療機関との協力体制など一定の基準を満たしながら、信頼されるがん医療の提供及び高度ながん医療の開発推進等に取り組んでいます。各病院ではがん診療連携拠点病院の機能として、緩和ケアセンターや相談支援センターの設置、外来化学療法など様々な取り組みを行なっています。

緩和ケアチームによる支援活動

高度先端技術を駆使したがん治療



日本医療機能評価機構認定病院 (かづの・大曲)

患者さんや地域住民の方が安心して選べる医療機関を目指し、第三者評価事業 (病院機能評価) の認定も受けつつ、医療の質の向上や改善に取り組んでいます。

保健予防事業

- 地域保健予防活動
- 生活習慣病対策
- 各種健康診断・相談・指導
- 各種予防接種
- 市町村保健事業への支援
- 市町村保健センターとの連携健康増進活動



「予防は治療に勝る」をスローガンに地域住民の健康管理活動を積極的に展開しています。また、健康に対する意識を高めるため、講演、健康相談、栄養指導等も行っています。



提供し、地域の皆様のいのちと健康を守ります。

救急医療の充実

JA秋田厚生連では、8病院が救急告示病院の指定を受け、24時間体制で救急患者に対応する体制を整備しており、初期診療及び、その後の各診療科での専門的な治療を行っています。結果として秋田県内の救急搬送患者の約半数を受け入れており、地域住民がいつでも身近で安心して受けられる医療提供体制の充実に努めています。



臨床研修指定病院

- 基幹型
(能代・秋田・由利・大曲・平鹿・雄勝)
- 協力型
(かつの・北秋田・湖東)

臨床研修では医学知識と基本的技能の習得はもちろん、医療の受け手の立場に立てる医師の育成を目指しています。



災害派遣医療チーム(DMAT)体制の整備 (かつの・北秋田・能代・秋田・由利・大曲・平鹿・雄勝)

DMATとは、「災害急性期(48時間以内)から活動できる機動性を持った医療チーム」です。地震などの大災害時には真っ先に被災地に入って医療活動や傷病者の被災地外への運び出しを担当します。JA秋田厚生連では8病院において、専門的訓練を受けたメンバーで編成したチームが不測の事態に備え、研鑽を重ねています。能登半島地震では、7病院のDMATが出動し、全国から集結したDMATと共に現地災害拠点病院の支援と負傷者の広域医療搬送を行い、被災地の医療に貢献しました。



福祉事業

訪問看護ステーション

居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション



住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、医師の指示のもと、ケアマネージャー等と連携しながら、健康状態を管理し、在宅医療の中心的な役割を担っています。

居宅介護支援事業所

要介護者・家族の希望や心身の特性を踏まえ、介護保険や保健・医療・福祉サービス担当者と連携を図りながらケアプランを作成し、生活状況を定期的に確認しながら、自立した生活を営めるよう支援いたします。

かづの厚生病院

院長 吉田 雄樹

【診察科目】計17科

精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 小児科 外科 整形外科 形成外科
脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科
耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 麻酔科

【病床数】計199床 一般197床 感染2床

【入院基本料】急性期一般入院料 1

地域包括ケア病棟入院料 1

【主な指定の状況】

救急告示病院
へき地医療拠点病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臨床研修指定病院(協力型)
日本医療機能評価機構認定病院

【附属施設等】

へき地巡回診療所
訪問看護ステーション

かづの厚生病院 profile

〒018-5201

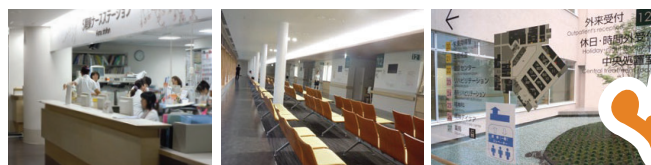
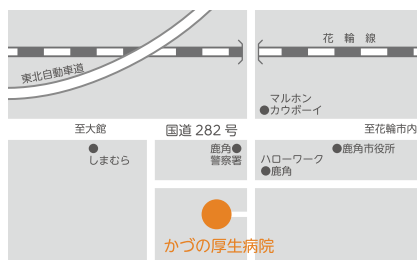
秋田県鹿角市花輪字向畑18

TEL 0186-23-2111 (代表)

FAX 0186-23-3653

E-mail kazunohp@hspkazuno.kazuno.akita.jp

URL https://www.hspkazuno.kazuno.akita.jp



患者様に誠を尽くして、
皆様に「より満足いただける
医療」を提供いたします。

地域医療に 全力を尽くします



鹿角・小坂地域唯一の二次救急医療機関として急性期の医療を担う一方で、健診等の保健活動やへき地診療等、院外での医療や予防活動も積極的に推進しています。

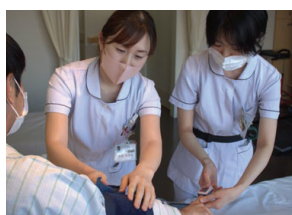


訪問看護

鹿角・小坂地域の唯一の訪問看護ステーションとして、24時間365日在宅療養者を支援しています。

へき地医療

八幡平・十和田湖地域のへき地医療を担っています。



お見舞いメール

病院ホームページから『お見舞いメール』に入力いただくと、担当看護師を通じてお渡しさせていただきます。

常に温かく思いやりのある
患者さん中心の看護



病院の特徴

病棟のある本棟は免震構造、外来棟は耐震構造となっており、その他のライフライン設備等も充実した災害拠点病院としての機能を発揮できる施設です。

秋田県の県北二次医療圏にあって、鹿角・小坂地域における中核的医療機関の役割を担っております。



病院に設置されたヘリポートでは、毎年消防と合同で緊急ヘリ搬送夜間離発着訓練を行っているほか、防災・県警ヘリ及び、秋田県・岩手県・青森県の3県にまたがったドクターヘリによる搬送活動にも活用されています。

患者支援センター

入院前の外来・在宅から、退院後の外来・在宅まで、「地域連携」「医療相談」「入退院支援」の各部門で必要な情報を共有し、専門性を提供しあうことで、患者さんや地域の医療機関・福祉施設のお役に立てるよう総合的な支援を行います。



北秋田市民病院

院長 相澤 俊朗

【診察科目】 計21科

内科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 小児科 外科 整形外科 形成外科
脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
放射線科 歯科口腔外科 麻酔科

【病床数】

計320床 一般224床 療養48床
結核4床 精神40床 感染4床

【入院基本料】

急性期一般入院料 4
結核病棟入院基本料 10:1
地域包括ケア病棟入院料 2



【主な指定の状況】

救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臨床研修指定病院(協力型)
へき地医療拠点病院
地域がん診療病院

【附属施設等】

訪問看護ステーション



北秋田市内で唯一外科手術を担っている施設として、全身麻酔が必要な手術から、外来での小手術まで広く対応しております。手術後のフォローアップ、抗がん剤治療も含め、開業医の先生の協力を得ながら、北秋田市地域医療連携センターを核に特色ある地域医療に努めております。

理念

地域のため、真摯に取り組む病院であり続ける

基本方針

1. 地域と共に、安心、安全の医療を提供する
1. 地域に密着した医療技術の研鑽と実践に尽力する
1. 透明性を尊重し、信頼性の高い医療を実践する
1. 特許可能医療を追求し、未来の世代に健やかな生活を実現する



北秋田市民病院 profile

〒018-4221
秋田県北秋田市
下杉字上清水沢16-29
TEL 0186-62-7001 (代表)
FAX 0186-78-9500
E-mail top@kitaakita-hp.jp
URL https://www.kitaakita-hp.jp



北秋田地域医療の要
豊かな自然に囲まれた療養環境の提供
特色ある地域医療の展開

病院の特徴

秋田県初の公設民営方式(開設者:北秋田市、指定管理者:JA秋田厚生連)で、平成22年4月に開院致しました。平成23年4月に開設した療養病棟は平成28年7月より地域包括ケア病棟として稼働しております。また、平成28年12月にはがん相談支援センターを開設、平成29年6月には緩和ケア外来を開設し、さらなる病院機能の向上に努めております。

大館能代空港のすぐそばにあり、広大な県立北秋の杜公園に隣接する豊かな自然に囲まれた快適な療養環境、高度な医療設備、優れた知識・医療技術に基づく質の高い医療を提供しております。

北秋田地域医療の要として地域の皆様の命と健康を守り、地域医療の向上と地域の皆様から信頼される病院を目指します。



病室、その他各所で四季折々の表情のある「癒しの景色」が広がります。

能代厚生医療センター

院長 太田原 康成

【診察科目】 計24科

血液・腎臓内科 リウマチ科 精神科 神経内科
 呼吸器内科 呼吸器外科 消化器内科 循環器内科
 小児科 外科 消化器外科 整形外科 形成外科
 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科
 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
 糖尿病・代謝内科 腫瘍内科

【病床数】 計393床 一般329床
 精神60床 感染4床

【入院基本料】 急性期一般入院料 1
 精神病棟入院基本料 13:1
 地域包括ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

| | |
|-----------|----------------|
| 救急告示病院 | 臨床研修指定病院(基幹型) |
| 災害拠点病院 | 地域がん診療病院 |
| エイズ地域診療病院 | 秋田県認知症患者医療センター |
| 病院群輪番制病院 | |



私たちは、地域中核病院として
 地域の皆様の健康を守ります。

臨床研修

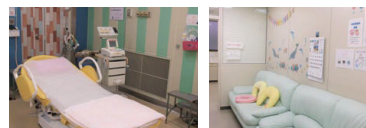
臨床研修には病院全体で取り組み、支え、育てようとする姿勢が最も重要です。各種カンファレンスへの参加者も増加傾向にあります。更なる臨床研修の充実に向けて、地域全体の協力をお願いしています。



分娩件数は県内有数

能代山本地域で唯一分娩が出来る施設です。妊娠37週の助産師外来、産後1週間後の母乳育児外来、産後2週間後健診、産後ケア事業(宿泊型)を行っています。また、助産師が近隣の教育機関へ出向き「いのちの出前講座」や、市町村の事業にベビータッチングケア講師として参加するなど地域貢献活動も行っています。

産婦人科常勤医4人を擁し、県内有数の診療体制を築いています。



患者さんが安心して入院生活が送れるよう支援しています!



能代厚生医療センター profile

〒016-0014

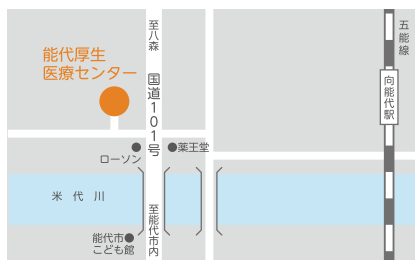
秋田県能代市落合字上前田内

TEL 0185-52-3111 (代表)

FAX 0185-55-0123

E-mail somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp

URL <https://yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp>



病院の特徴

広範な医療圏と幅広い医療の展開

当院の医療圏は非常に広範で、秋田県北部のほぼ全市町村の他に、青森県深浦町までの日本海沿岸に及んでいます。この広範な地域から、小児医療から老人医療、救急疾患から慢性疾患まで幅広い医療を展開しています。

救急医療

救急医療において、広範な地域の救急患者の70%以上が当院を受診され、幅広い疾患に対するプライマリーケアを提供しています。

秋田県北部と青森県南部の医療を背負う基幹病院

検診活動など地域保健医療にも携わり、秋田県北部と青森県南部の医療を担っています。

患者支援センター

患者さんが安心して治療を受けることができるように、「入退院支援・地域医療連携・医療福祉相談・がん相談」の4つの部門を統合し、総合的な支援に努めています。センターでは、看護師・薬剤師・社会福祉士・精神保健福祉士・事務等の多職種のスタッフが連携し、支援させていただきます。



湖東厚生病院

院長 波多野 善明

【診察科目】計14科

内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 小児科
整形外科 精神科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科

【病床数】計100床 一般100床

【入院基本料】急性期一般入院料 3

地域包括ケア病棟入院料 1

【主な指定の状況】

臨床研修指定病院(協力型)
秋田県肝疾患専門医療機関

【附属施設等】

訪問看護ステーション



湖東厚生病院 profile

〒018-1605
秋田県南秋田郡八郎潟町
川崎字貝保98-1

TEL 018-875-2100 (代表)

FAX 018-875-5269

E-mail info@koto-ghp.jp

URL <https://www.koto-ghp.jp/>



病院の特徴

当院は秋田県南秋田郡を中心医療圏とするベッド数100床の病院で、現在一般56床、地域包括44床となっています。「地域を支え地域の皆様に愛される病院を目指す」ことを基本理念とし、1)地域の人たちに信頼される安全で良質な医療の提供、2)高齢者の「生活の質」を大切にする暖かい医療、3)介護や福祉と連携しながら積極的に在宅医療を推進する、を基本方針としています。更に具体的には「秋田県で一番高齢者に優しい病院」、これがこれまで当院が「目指してきた姿」「積み重ねてきた実績」であり、当院の果たすべき機能・役割、そして特徴だと考えています。

今後も急性期から回復期、更に退院後も重視して病状と身体機能の回復を図り、1)既に実績がある訪問診療・訪問看護、入院リハビリ・訪問リハビリの更なる充実、2)家庭医療専門医による家庭医療の実践、3)高齢者に利便性が高いオンライン診療の充実、4)当地域で特に多い介護系施設との連携強化、を進めて参ります。

訪問診療

患者さんの社会復帰を支援し、家庭生活・在宅療養を円滑に進め不安を軽減するため、内科系医師、看護師、理学療法士、訪問看護ステーションなどが密に連携して通院困難な患者さんや在宅療養を希望する患者さんの訪問診療(毎週水曜、金曜)を積極的に行っています。最期のときまで自宅で過ごして療養したい方、在宅療養を続けながら必要な時には入院したい方、麻痺などで通院困難な方、在宅療養に不安がある方など様々な患者さんに対応しています。

平成15年11月より訪問診療を開始し、基礎疾患は認知症、脳血管障害、がん、整形外科疾患、内科系疾患、神経変性疾患など多岐に渡っています。



全人的医療を追求して
地域と共に歩む!



全人的医療を 目指して

当院には総合内科専門医、総合診療専門医/指導医、家庭医療専門医/指導医、消化器病専門医/指導医、肝臓専門医、呼吸器専門医/指導医、血液専門医/指導医、整形外科専門医、プライマリーケア認定医/指導医など、多くの学会認定専門医/指導医が在籍しています。内科系医師、整形外科医師が中心になって慢性疾患の外来管理から急性期疾患の入院治療まで幅広い分野を担っています。現代では一人の患者さんが多くの身体的、心理的、さらには社会的問題を抱えている場合が多くなっています。そうした患者さんに対してより良い医療を行うには、単に各分野の専門医が集まって診療を行うだけではなく、全人的医療に対する理解と経験のある医師が中心になって多職種の病院スタッフが連携して英知を結集し、診療を行う必要があります。

令和4年12月からオンライン診療も開始し、特に高齢者に対する診療の利便性を高めるよう努めています。われわれは地域住民に対する全人的医療の実践を目指し、多職種の病院スタッフが協働したチーム医療により日々の診療を行っています。



厚生連の理念 誓い / 理事長あいさつ / 沿革

組織図・病院配置図

事業内容

北秋田市民病院
かつの厚生病院

湖東厚生病院
能代厚生医療センター

由利組合総合病院
秋田厚生医療センター

平鹿総合病院
大曲厚生医療センター

J A 秋田厚生連本所
雄勝中央病院

人材育成

職員紹介

福利厚生

秋田厚生医療センター

院長 柴田 聡

【診察科目】 計27科

血液内科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 糖尿病・代謝内科 小児科 消化器外科
呼吸器・乳腺外科 整形外科 脳神経外科 心臓血管外科
小児外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科
耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 放射線科 放射線治療科
麻酔科 緩和ケア内科 病理診断科 腎臓内科 腫瘍内科

【病床数】 計431床 一般429床 感染2床

【入院基本料】 急性期一般入院料 1

小児入院医療管理料 4

ハイケアユニット入院医療管理料 1

地域包括ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

救急告示病院

臨床研修病院(基幹型)

地域がん診療連携拠点病院

エイズ地域診療病院

【附属施設等】

訪問看護ステーション

指定居宅介護支援事業所

秋田厚生医療センター profile

〒011-0948

秋田県秋田市飯島西袋一丁目1-1

TEL 018-880-3000 (代表)

FAX 018-880-3040

E-mail akikumi@akikumihsp.com

URL <https://www.akikumihsp.com>



病院の特徴

秋田市北部及び隣接する男鹿南秋潟上地区(人口約16万人)を担当診療圏としています。地域最大の基幹病院として最新の知識と技術に加え、より質の高い安全な医療の実現のため職員一同、医療を担うプロフェッショナルとしての自覚と誇りをもって日々の研鑽に励み、患者さんには選ばれる病院を目指しています。

1. 心臓血管病領域

急性期治療から心臓リハビリテーション(県内最大規模)にも力を入れています。

2. 整形外科領域

豊富な経験を持つスタッフと質の高い医療を提供しており、特に脊椎外科の領域は、県外からも患者さんが訪れます。

3. 消化器病領域

消化器科は内視鏡治療に特に力を注いでおり、県内でも数少ない小腸カプセル内視鏡設備を有し、外科も胃癌・大腸癌の領域で数多くの症例を誇ります。

4. 腎センター

人工透析50床が稼働する県内最大の腎センターです。社会復帰される患者さんが、生きがいや満足感のある生活が保てるように支援いたします。

5. 県内最多を受け入れる救急医療

救急告示病院として救急車を断らないことを原則とし、県内最多の救急患者を受け入れています。

患者中心の医療の実践と
プロフェッショナルの医療実現へ
安心・安全・信頼
生命の尊重と平等な人間愛



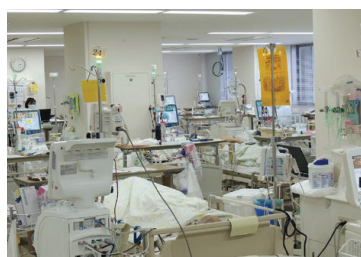
学生や研修医の
教育を大切にしています!



救急搬送数県内最多!



県内最大の腎センター



地域住民への出張講座



由利組合総合病院

院長 軽部 彰宏

【診察科目】計 24 科

内科 精神科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科
呼吸器外科 心血管外科 小児外科 皮膚科
泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 麻酔科
歯科口腔外科 病理診断科 糖尿病代謝内科

【病床数】計399床 一般395床 感染4床

【入院基本料】 急性期一般入院料 1
小児入院医療管理料 4
地域包括ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

救急告示病院
へき地医療拠点病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院(基幹型)
地域がん診療病院

【附属施設等】

へき地巡回診療所

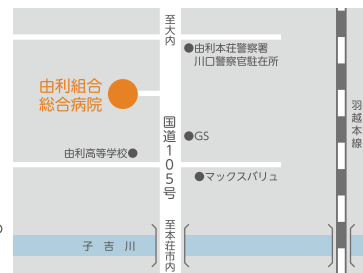
【受託診療所】

鮎川診療所



由利組合総合病院 profile

〒015-8511
秋田県由利本荘市川口字家後38
TEL 0184-27-1200 (代表)
FAX 0184-27-1277
E-mail jimusitu@yuri-hospital.honjo.akita.jp
URL https://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp



鳥海山を臨む地域の基幹

医療を通して地域住民の信頼を得、
人々の健康と幸せのために貢献します



病院の特徴

当院は、急性期医療を中心に秋田県南西部の由利本荘・にかほ地域(人口約9万5千人)における中核的な総合病院です。二次救急医療機関として、脳血管・心筋梗塞・交通事故等々、様々な疾病の治療に努めています。血管内治療や緊急手術にも対応しています。他医療機関・施設連携を図りながら、救急・急性期・在宅と包括的医療を継続して行い、保健予防活動にも積極的に取り組み、小児科・産婦人科の体制も整っており、地域住民の健康管理の期待に応えるよう努めています。



血管内治療 最前線を行く

- ・循環器医療
- ・心臓血管外科医療
- ・脳血管内医療

経験と最新の治療を 組み合わせたがん医療



がん診療に関する医療従事者セミナー



外来化学療法での調整混合



緩和ケア研究会

新しい生命の誕生と健やかな成長のために

由利本荘・にかほ地域で、新生児患者に対応できる唯一の病院です。産科と小児科の連携でハイリスク分娩にも対応し、母子共に安全な周産期医療を受けられる環境を整えています。

大曲厚生医療センター

院長 三浦 康

【診察科目】計21科

内科(血液・腎) 内科(循環器) 内科(消化器) 内科(呼吸器・アレルギー)
小児科 外科 整形外科 脳神経外科 呼吸器外科 皮膚科
泌尿器科 麻酔科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科
リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 病理診断科
糖尿病内科 脳神経内科

【病床数】計437床 一般433床 感染 4床

【入院基本料】急性期一般入院料 1
小児入院医療管理料 4
地域包括ケア病棟入院料 2
緩和ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臓器提供協力施設
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院(基幹型)
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院

【附属施設等】

訪問看護ステーション

大曲厚生医療センター profile

〒014-0027

秋田県大仙市大曲通町8-65

TEL 0187-63-2111(代表)

FAX 0187-63-5406

E-mail info@okmc.jp

URL https://www.okmc.jp



大仙・仙北の医療拠点

安全で質の高い患者様本位の医療を提供し、信頼される病院を目指します。



病院の特徴

大曲通町地区市街地再開発事業により、JR大曲駅前地区に一大医療福祉エリアが誕生しました。その核として隣接地に平成26年5月1日新築移転し、病院名称も「仙北組合総合病院」から「大曲厚生医療センター」に変更しました。

当院は県土の18.3%にあたる広大な面積を有した地域の救急医療の岩として機能し、がん検診等保健予防活動にも積極的に取り組んでいます。特にがん医療については緩和ケア病棟を開設し、診断、治療、緩和医療、在宅看護まで一貫したがん診療を提供しています。

さらに屋上には冬期間も離着陸可能なヘリポートを設置し、救急隊員が日中待機する県内初となる救急ワークステーションも配備、救急医療の拠点センターとなっています。また、今年度より手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、より低侵襲な手術が可能になりました。大仙仙北地域の公的病院として地域の皆様の健康を守るため努力してまいります。

24時間の診療体制

通常の救急診療体制に加え、消防署の救急隊員が平日の日中に常駐する救急ワークステーションを備え、救急医療の充実を図っています。



がん診療体制の充実

- ・ リニアック(放射線治療装置)
- ・ 緩和ケア外来
- ・ 緩和ケア病棟
- ・ 外来化学療法室
- ・ がん相談支援センター



平鹿総合病院

院長 堀口 聡

【診察科目】 計25科

内科 血液内科 精神科 神経内科 呼吸器内科
 消化器・糖尿病内科 循環器内科 小児科 外科
 消化器外科 整形外科 形成外科 脳神経外科
 心臓血管外科 乳腺外科 皮膚科 泌尿器科
 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
 放射線科 麻酔科 歯科 病理診断科

【病床数】 計564床 一般558床 結核6床

【入院基本料】 急性期一般入院料 1

結核病棟入院基本料 7:1

小児入院医療管理料 4

ハイケアユニット入院医療管理料 1

地域包括ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

救急告示病院
 へぎ地医療拠点病院
 外国人医師臨床修練指定病院
 災害拠点病院
 エイズ拠点病院
 臓器提供協力施設
 病院群輪番制病院
 地域周産期母子医療センター
 臨床研修指定病院(基幹型)
 地域がん診療病院

【附属施設等】

へぎ地巡回診療所
 訪問看護ステーション

指定居宅介護支援事業所



病院の特徴

当院は、疾病の予防から高度先進医療まで横手地域における中核病院として機能しています。

1. 地域における中核病院
2. 循環器疾患に関しては広域での基幹病院的存在
3. 秋田県南部の周産期医療の拠点施設
4. 秋田県南部の小児療育医療の拠点施設

研究と教育を重く認識し 人間性豊かな医療人の育成



平鹿総合病院 profile

〒013-8610

秋田県横手市前郷字ハツコ3-1

TEL 0182-32-5121 (代表)

FAX 0182-33-3200

E-mail hrkjmsom@air.ocn.ne.jp

URL <https://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp>



県南エリアの医療の要

「より高度な臨床」「より深い研究」
 「より広い教育」「より積極的な保健活動」
 の「四つの柱」を職員が共有し
 地域の人々の生命と健康を守ります。

ハイケアユニット



プレイルーム



周産期母子医療センター

LDR室/陣痛室・分娩室・回復室が一体になった個室・・・自宅の居間にいるようなリラックスした環境で出産に臨んで頂けます。



雄勝中央病院

院長 小松田 敦

【診察科目】 計20科

内科 腎臓内科 神経内科 呼吸器科 消化器科
循環器科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科
心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科
放射線科 麻酔科 歯科口腔外科

【病床数】 計197床 一般193床 感染4床

【入院基本料】 急性期一般入院料 4

地域包括ケア病棟入院料 2

【主な指定の状況】

救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院(基幹型)
地域がん診療病院
難病医療協力病院

【附属施設等】

訪問看護ステーション



雄勝中央病院 profile

〒012-0055

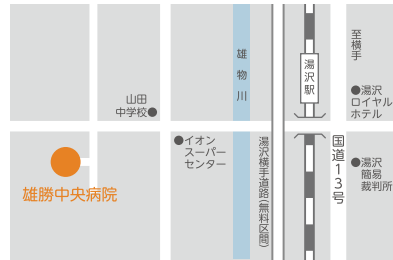
秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡25

TEL 0183-73-5000 (代表)

FAX 0183-73-3749

E-mail ogachi-1@lily.ocn.ne.jp

URL https://www.ogachi-hsp.jp



病院の特徴

当院は、秋田県内陸南部、湯沢市雄勝郡(人口約7万人)の中核病院として、小児から高齢者までのプライマリーケアから二次救急まで幅広い疾患に対応しています。湯沢市郊外の小高い丘に位置した病院で市街が一望され四季おりおりの素晴らしい景色を見ることができます。その眺めは、患者さんはもとより働く職員も和ませてくれます。

特色 1. 手術・化学療法から緩和ケアまでのがん治療、周産期・小児医療、透析センター(40床)での人工透析など、広範囲に地域の二次医療を担います。

特色 2. リハビリセンターを設置し脳卒中・外傷後遺症等に対する機能回復を支援する一連の診療体制です。

特色 3. 訪問看護ステーションを併設し、地域の医療機関と連携し地域の在宅医療に積極的に取り組んでいます。



やさしさ“信・望・愛”

安全と安心で得られる信頼される看護・地域と共に歩み、望まれる看護・やさしく温かい愛情ある看護の提供をめざします。

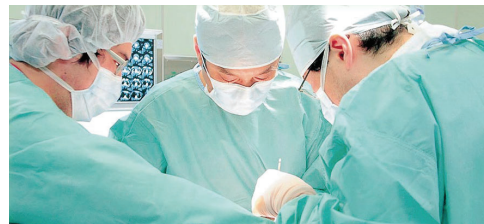


信・望・愛

信・望・愛を基本とし

- 一、地域から信頼される医療
 - 一、良質で希望溢れる医療
 - 一、人間愛豊かな医療
- を提供いたします。

先進医療に取り組みます



救急救命
いざという時に



JA秋田厚生連本所

本所は、病院のフォローをしながら、厚生連としてのスケールメリットを生かすための役割を担っています。情報を集約し、様々な業務の改善や推進に向けた方策を検討しています。

本所内には、大きく分けて5つの部署があります。



JA秋田厚生連本所 profile

〒010-0976
秋田県秋田市八橋南二丁目10-16
JAビル6階

TEL 018-864-2621(代表)

FAX 018-864-2675

E-mail ja@akitakouseiren.or.jp

URL <https://www.akitakouseiren.or.jp/>



環境の変化に柔軟に対応した
医療提供体制の構築を目指し、
地域医療の充実に向けて尽力いたします。



- 総務人事部： 広報、人事、給与、医療従事者の充足対策、ハラスメント対策等を取り扱う
- 企画管理部： 事業計画、収支、医事請求等を取り扱う
- 事業推進部： 医療材料、建築・大規模修繕、保健福祉、情報システムを取り扱う
- 業務改革推進室： 勤務環境改善等を取り扱う
- 監査室： 全病院を第三者的視点から監査する



一般財団法人 秋田県農村医学会

秋田県地方農村および地域の実態に立脚し、医学の進歩を図り、農村社会における医療と保健に関する全ての問題を調査研究し、その健全なる向上、発展を期することを目的としています。

事業

- 学術大会の開催(年1回)
- 農村における健康を考える集いの開催(年1回秋田県種苗交換会行事の一環としてJA秋田中央会と共催)
- 秋田県農村医学会雑誌の発行
- 部門別共同研究班による農村医学研究活動の助成ならびに実施
- 秋田県農村医学会学会賞の授与(功労賞・学術奨励賞)
- 研究機関との学術交流(学術雑誌の交換等)
- 一般社団法人日本農村医学会への協力・提携
- 農村医療保健の向上および啓発・普及活動(テレビ放映および新聞掲載等)



人材育成

JA秋田厚生連では、「目指す医療と組織の姿」の実現のため、

「JA秋田厚生連グループの一体的な経営を実現し、地域に貢献する人材づくり」

を人材育成ビジョンと定め、取り組んでいきます。

この人材育成ビジョンに基づき、一人一人が身につけていきたい5つの行動特性と6つのマインドを11Seeds（イレブン・シーズ）と名付け、目指す姿の実現に向けて一人一人の花を咲かせていきます。

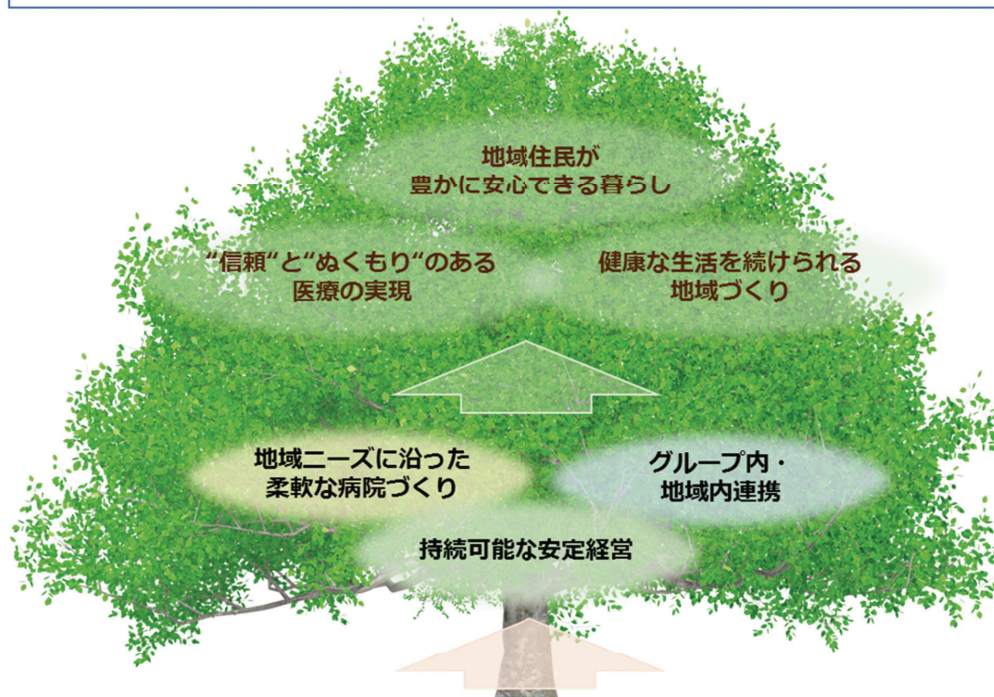
JA秋田厚生連 「目指す医療と組織」の姿

私たちが目指す医療の姿（グループ理念から要約）

私たちは、地域住民が健康で豊かに安心して暮らせるよう、“信頼”と“ぬくもり”のある医療を目指します。

私たちが目指す組織の姿

私たちは、一つのチームとして連帯し、組織力を活かした安定経営を土台として、地域住民の需要に沿った柔軟性のある病院を目指します。



JA秋田厚生連の教育ビジョンと求められる行動特性とマインド

教育ビジョン

JA秋田厚生連グループの一体的な経営を実現し、地域に貢献する人材づくり

求められる5つの行動特性

患者志向力

課題発見力

実行力

コミュニケーション力

探求力
(学習力)

求められる6つのマインド

グループ志向

共生志向

尊敬・尊重

倫理観

主体性

経営参画意識

1. 組織・経営マネジメント (階層別)

組織における基準行動、役職者のマネジメントスキル等、組織で働くうえで必要なマインドセットを学んでいきます。

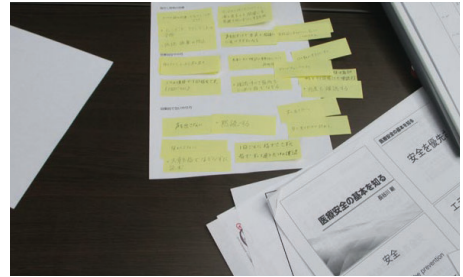
新入職員は、厚生連の歴史、医療の現状をはじめ、医療人としてのコンプライアンス、ビジネスマナー等も学びます。



2. 医療人としてのスキル・技術 (レベル別)

医療安全、感染対策、個人情報、医療倫理等、病院で働く医療人として必須のスキルを学びます。職種別の職員集合研修では、グループ病院の職員間の情報交換・コミュニケーションも図っています。

また、各職種の職員育成プログラムでは、チーム医療推進等、時代の要請に応えられる職員を目指し、当会全体として必要とされる共通プログラムを策定し、優秀な職員の育成に取り組んでいます。



人材育成プログラム



- 薬剤師 >>> 新人教育プログラム
- 診療放射線技師 >>> 新人教育プログラム
- 臨床検査技師 >>> 新人教育プログラム
- リハビリテーション専門職 >>> 新人教育プログラム
- 管理栄養士 >>> 新人教育プログラム
- 看護師 >>> 新人教育プログラム
- 事務職員 >>> 職員育成プログラム

医療資格取得支援

高度化・専門化する医療現場に対応するために、より専門的な知識・技能をもった医療技術者の育成のための支援制度を実施しています。対象資格は、病院の運営上必要とされる国家資格およびこれに準ずる専門資格、認定資格等となっております。

<対象資格>

助産師・専門看護師・認定看護師・細胞検査士・超音波検査士・がん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師・放射線治療専門放射線技師・医学物理士・NST専門療養士・心臓リハビリテーション指導士・診療情報管理士 等

e-ラーニング研修



指定された日時・場所ではなく、自分の好きな時間・好きな場所で研修を受講できるよう、e-ラーニング受講のツールを導入しています。すべての職員に対し平等に良質な教育機会を提供し、患者さんに対して良質な医療を提供するため、資質・能力・技術の向上に日々努めています。

職員紹介



AKITA
KOSEIREN

「チーム医療」の一員として働く Medical Staff

JA秋田厚生連の病院には、
「チーム医療」の一員として
様々な職種が働いております。

助産師

中川原 英夢

(秋田大学出身)

病棟での仕事は日々変化が激しいため、臨機応変に対応できるように頑張っています。入社してから経験したお産を振り返っても、すべて同じ経過をたどるお産はありません。入院期間の関わりを通して退院後の不安が解消されるように努めています。お母さんから「助かりました」や「ありがとうございました」の声を頂くと、私の看護も役に立つことができたのだと嬉しく感じます。



臨床検査技師

阿部 咲来

(新潟医療福祉大学出身)

心臓超音波検査に力を入れています。患者さんによって、見えやすさや出しやすさが異なり難しいですが、ポイントやコツを教えてください日々頑張っています。過小・過大評価とならないよう、他の技師と同じように指摘できるようになることが目標です。自分が行った検査記録が、病気の発見や治療に繋がっていると考えるとやりがいを感じられます。



薬剤師

草薙 稚奈

(東北医科薬科大学出身)

病院薬剤師は、チーム医療の一員として患者さんの疾患や病状について深く理解したうえで、ケアに関われる点がメリットだと感じています。病棟で先輩方が医師からの相談に応じたり、処方提案している姿を見ると、病院薬剤師の仕事の幅広さを感じます。注射薬や輸液の配合変化、がん薬物療法に関する知識を学び、業務で生じる課題や疑問を解決できるような薬剤師になれるよう頑張っています。



言語聴覚士

田邊 かい

(新潟医療福祉大学出身)

高次脳機能、構音機能、嚥下機能など患者さんの生活に必要な不可欠な分野を対象にしています。そのため不安でいっぱいのお患者さんも多いです。急性期の患者さんは状態変化に波があるため、慎重に介入しています。日々の臨床の中で、勉強をかかさず知識を増やし、自分が成長できたときにやりがいを感じます。患者さんに親身に寄り添い、誰からも信頼される言語聴覚士を目指しています。



AKITA
KOSEIREN



理学療法士

高橋 慧太

(秋田リハビリテーション学院出身)



積極的に患者さんがリハビリに参加できるように患者さんの希望、目標に沿ってリハビリを進めていくことや、日々の介入の中で少しの変化に気づき、意欲的にリハビリができるようサポートすることを心がけています。急性期で患者さんの身体機能が回復していく様子を側で見守ることができ、その喜びを共有できたときや、患者さんに合わせたプログラムを創意工夫して作成し、その効果が現れた際にやりがいを感じます。

作業療法士

石井 真羽

(秋田大学出身)



作業療法士は患者さんの退院後の生活をイメージしながら、その人らしい生活が送れるように支援できる仕事です。日々試行錯誤しながら、患者さん一人ひとりに合わせたリハビリを提供できるよう心がけています。時には患者さんとの会話がリハビリプログラムのヒントになることもあります。「人対人」の仕事で教科書通りにいかないことばかりですが、それが大変さであり楽しさだと思います。また、多職種で協力して患者さんの退院支援に関われることにやりがいを感じています。

臨床工学技士

柳谷 愛楓

(国際医療看護福祉大学校出身)



心臓カテーテル業務や機器管理業務などに勤んでいます。心臓カテーテル業務では、緊迫した雰囲気の中、1つ1つ自分の出来ることを増やせるように業務にあたっています。機器管理業務では、点検する機器には命に直接関係する機器もあるので、緊張感をもって頑張っています。幅広く業務を行うため、他の職種の方々と協力してチーム医療の一員として携わっていることを実感します。

管理栄養士

佐藤 里々花

(盛岡大学出身)



私自身、小学生の頃に食事療法を受けた経験があり、食べられない事に対して大きなストレスが伴うということ、幼いながらに身をもって知りました。そのため食事療法において患者さんが感じている苦痛や悩みに寄り添いながら、一人ひとりに合った指導・提案ができるよう心がけています。多職種との関わりの中で視野を広げながら自己研鑽に努めていきたいです。

診療放射線技師

高橋 和希

(弘前大学出身)



診療放射線技師は様々なモダリティの業務があり、それら全てに対応しなければなりません。円滑に診断に有効な画像を提供できるように努めています。JA秋田厚生連は地域医療を支える中核的医療機関です。そのため様々な症例の検査やモダリティに携わることができ、豊富な医療の知識と臨床経験を積むことができるメリットがあります。また、厚生連の病院間での情報共有や多職種の方々との関わりも強みであり、経験を積みステップアップしやすい環境にあると感じています。

事務職員

山手 隼

(山形大学出身)



医事課に所属しており、主に入院された患者さんの医療費の請求やレセプトの作成を行っています。この他にも書類や伝票の処理、患者さんの対応など業務は多岐にわたります。入会当初は医療や各種保険、制度についての知識がありませんでしたが、医事課の先輩や、医師や看護師など多職種と連携して業務を行う中で、医療用語や手術についても理解できるようになり、できることや知識が増え、やりがいを感じています。

社会福祉士

佐々木 凜生

(東京福祉大学・秋田社会福祉専門学校出身)

私は退院支援と医療福祉相談を担当しています。退院支援では、病院内外での多職種と積極的にコミュニケーションを取ることを意識し、スムーズな退院を目指しています。医療福祉相談では、患者さんやご家族から寄せられる相談への対応、介護保険など法制度の活用に向けた説明をします。様々なケースに対応できるよう日々勉強しています。患者さんや仕事で関わる方の笑顔が見られたときにやりがいを感じます。



福利厚生

Support

職員の勤務意欲の増進、文化の向上に役立てるために様々な福利厚生制度があります。

1 定期昇給・賞与

定期昇給は原則として毎年1回、賞与は職員の勤務状況および会の業績に基づいて、原則として7月、12月などに支給しています。



2 完全週休2日制

年間120日程度のお休みがあり、このほかにも夏期休暇、お盆休暇、年末年始休暇があります。



3 有給休暇

初年度は10日間、2年目以降は20日間取得ができ、年度繰り越しできるため最高で40日まで取得可能です。

20
DAYS

4 借家・借間手当

宿舍や寮などはありませんが、独身者でアパートなどに居住している方に最大22,500円まで手当として支給しています。



5 通勤手当

1.5 km以上の徒歩、自転車、自家用車、バスなどの通勤は距離に応じて手当が支給されます。また、公共交通機関(電車、バス)利用者にも定期券1か月分を対象に支給しています。



6 育児・介護休業

男女共に子育てや介護をしながら働き続けることができる職場環境を整備しています。
①子育て中の短時間勤務制度や残業免除
②子供の看護休暇の取得
③産後パパ育休
④パパ・ママ育休プラス
⑤介護休暇の取得



7 退職金

勤続1年以上から支給あり、
在職年数に応じて支給しています。



10 レジャー施設の利用補助

東京ディズニーリゾートや八景島
シーパラダイスなどのレジャー施設
を特別料金で利用できます。



8 社会保険

健康保険、雇用保険、介護保険、労災保険、厚
生年金に加入しています。また、任意で団体定
期生命共済に加入することもできます。

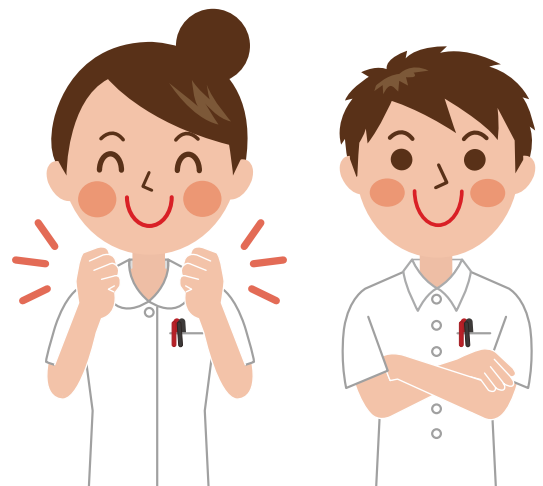


11 奨学金

医師・薬剤師・助産師・看護師・医療技術者
を養成する学校に在学中の方、又はこれ
らに進学しようとする方に奨学金を貸与
する制度を設けています。

9 保養所補助金

宿泊施設利用で年度内3泊
を限度として、1人1泊につ
き3,000円が補助されま
す。どこのホテル、宿泊施設
でも利用可能で、パック旅
行も対象となっております。





(秋田県厚生農業協同組合連合会) <https://www.akitakouseiren.or.jp/>

JA秋田厚生連の施設

かづの厚生病院

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字向畑18
TEL.0186-23-2111(代表)

由利組合総合病院

〒015-8511 秋田県由利本荘市川口字家後38
TEL.0184-27-1200(代表)

北秋田市民病院 (指定管理者)

〒018-4221 秋田県北秋田市下杉字上清水沢16-29
TEL.0186-62-7001(代表)

大曲厚生医療センター

〒014-0027 秋田県大仙市大曲通町8-65
TEL.0187-63-2111(代表)

能代厚生医療センター

〒016-0014 秋田県能代市落合字上前田地内
TEL.0185-52-3111(代表)

平鹿総合病院

〒013-8610 秋田県横手市前郷字ハツ口3-1
TEL.0182-32-5121(代表)

湖東厚生病院

〒018-1605 秋田県南秋田郡八郎潟町川崎字貝保98-1
TEL.018-875-2100(代表)

雄勝中央病院

〒012-0055 秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡25
TEL.0183-73-5000(代表)

秋田厚生医療センター

〒011-0948 秋田県秋田市飯島西袋1-1-1
TEL.018-880-3000(代表)

本所 (秋田県JAビル6階)

〒010-0976 秋田県秋田市八橋南2丁目10-16
TEL.018-864-2621(代表)

JA秋田厚生連
スマートフォン向けサイト
役立つ情報盛りだくさん!
アクセスお待ちしております

